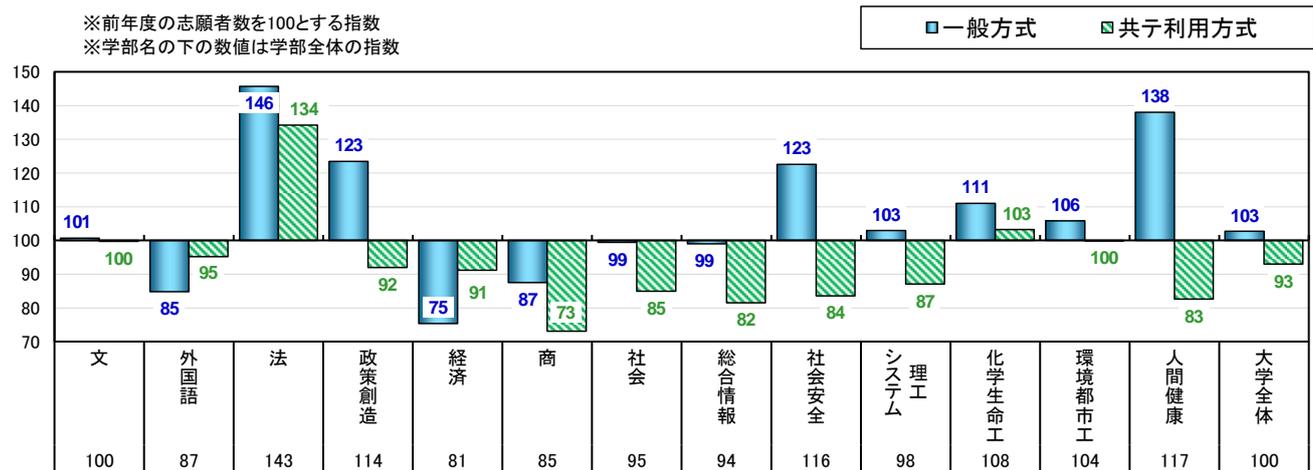


## 関西大：大学全体では3年連続減少、共テは11学部で減少 一般：+1,521人 共テ：-1,638人



主な入試変更点 学科名称：環境都市工(エネルギー・環境工)→環境都市工(エネルギー環境・化学工)

### COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では117人(100)の微減だが3年連続減少。学部別では、増加7学部、減少6学部とほぼ拮抗。方式別では、一般方式は1,521人(103)のやや増加で3年連続減少の反動は小さかった。共通テスト利用方式は1,638人(93)のやや減少で前年度増加の反動が見られた。学部別では、法(134)、化学生命工(103)を除く11学部が減少。特に、商(73)の30%近い大幅減少が目立った。

#### ＜一般方式＞

- 文(101)は、2年連続減少の反動はなく、微増に留まった。
- 外国語(85)は、系統への低い人気も影響して大幅減少で、4年連続減少。その結果、志願倍率は2018年度の27.2倍→18.7倍にダウン。
- 法(146)は、前年度大幅減少の反動と系統への人気の高まりもあって大幅増加。志願倍率は15.0倍→21.9倍にアップ。なお、2019年度以降、志願者数は前年度の反動による増減が継続。
- 政策創造(123)は、3年連続減少の反動で、大幅増加。
- 経済(75)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数および志願倍率はそれぞれ6,000人、20倍を下回った。
- 商(87)は、減少で5年連続減少。志願者数は約6,000人まで減少し、志願倍率も19倍を下回った。
- 社会(99)は、微減だが4年連続減少。
- 総合情報(99)は、微減だが3年連続減少。
- 社会安全(123)は、4年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も2年ぶりに20倍を上回った。
- システム理工(103)は、前年度大幅減少の反動でやや増加。
- 化学生命工(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 環境都市工(106)は、やや増加で4年ぶりに増加。
- 人間健康(138)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も17.2倍→23.7倍にアップ。

#### ＜共通テスト利用方式＞

- 文(100)は、前年度大幅増加の反動はなく、前年度並。
- 外国語(95)は、やや減少で3年連続減少。
- 法(134)は、4年ぶりに大幅増加。
- 政策創造(92)は、減少で3年連続減少。
- 経済(91)は、前年度募集人員の増加により激増した反動で減少。
- 商(73)は、前年度激増の反動で大幅減少。
- 社会(85)は、大幅減少で4年連続減少。
- 総合情報(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 社会安全(84)は、前年度半減以下の反動はなく大幅減少で、3年連続大幅減少。
- システム理工(87)は、5年連続増加の反動で減少、志願者数は3年ぶりに2,500人を下回った。
- 化学生命工(103)は、やや増加で、5年連続増加、志願者数は2年連続で1,500人を上回った。
- 環境都市工(100)は、1人のみの微減で前年度並。
- 人間健康(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。